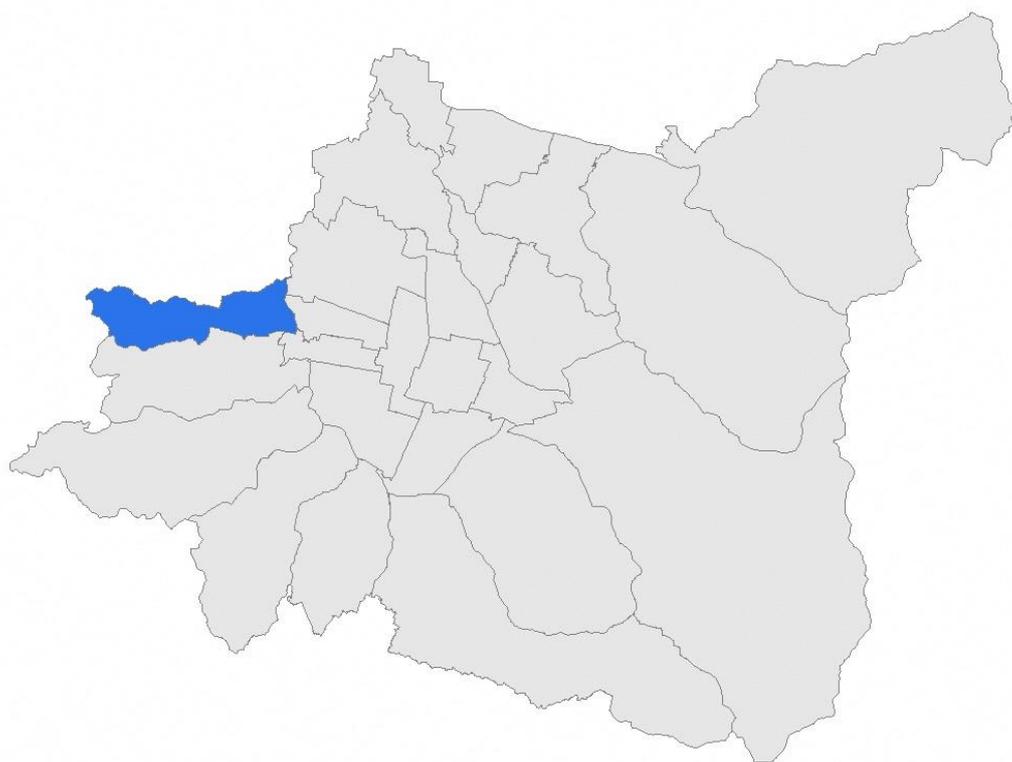


山形市都市計画マスタープラン地域別構想

大 曾 根 地 区



山 形 市

令和2年12月

地域別構想の役割

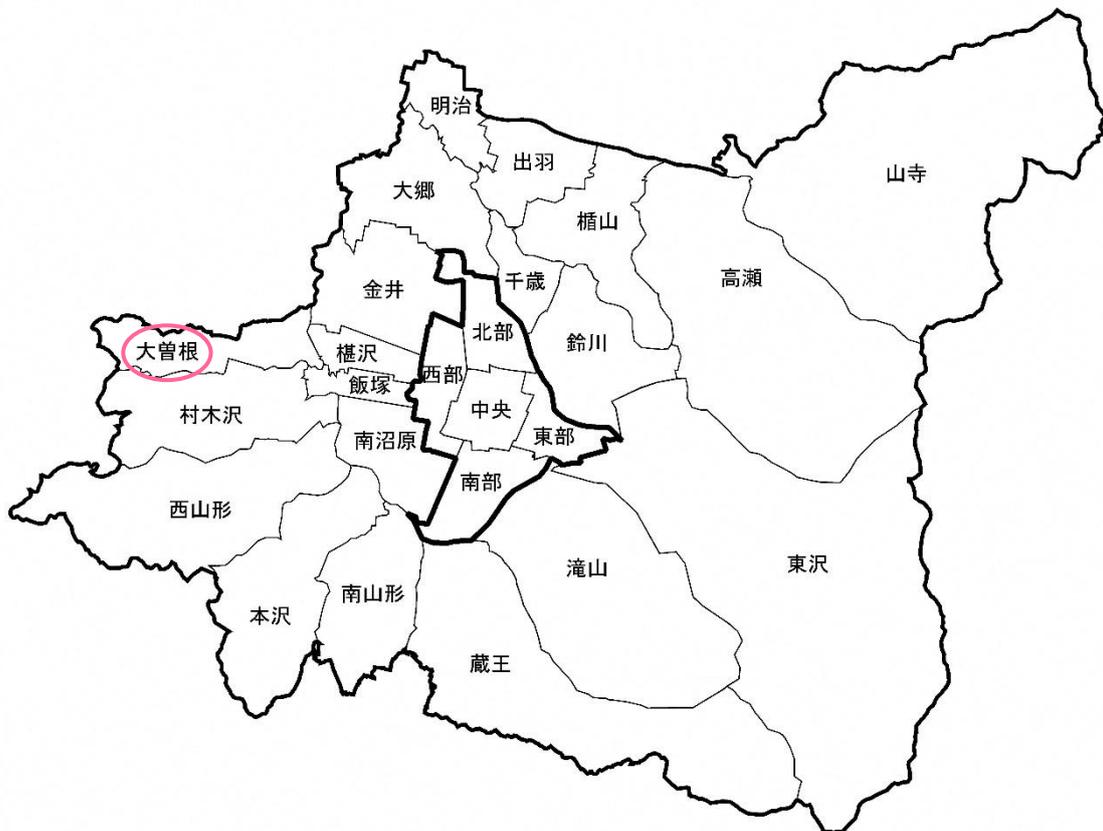
■地域別構想とは

全体構想や分野別構想における各地域の位置づけ等を踏まえ、地域特性や固有の課題に応じた地域ごとのまちづくりの方針を示すものです。

■地域区分の考え方

都心地域については、歴史的な経過や地理的条件、地域特性などから、ある一定のまとまりをもってまちづくりを考える地域として東西南北中央の5つの地域に区分します。

都心地域以外の地域については、旧村単位の地域ごとに地域づくりの拠点として、コミュニティセンターが設置され、それぞれの地域ごとに独自のまちづくり活動を展開していることから、コミュニティセンター区(旧村区域)により20の地域に区分します。



1 地域の特徴と課題

地域の特徴

◆市の西端に位置する豊かな自然と水に囲まれた地域です◆

- ・地区の約50%を農地が占める農業が盛んな地域です。
- ・平坦部には圃場整備された優良農地が広がっているものの、山間部には狭隘な農地が点在しています。
- ・常明寺周辺には豊富な水を活かした多くの養魚池が広がっています。
- ・水源かん養機能等の公益的機能に加え、木材生産性のある豊かな森林が広がっています。
- ・全国初のオーナー制サクラノボ園である「ふる里サクラノボ園大曾根館」は、観光客だけでなく、地域住民にも交流の場としても活用されています。
- ・「大曾根太鼓保存会」や「大曾根餅つき保存会」など、地区の伝統を活かした活動が盛んです。
- ・須川河川敷では山形の夏の風物詩「山形大花火大会」が開催されています。
- ・鱒観音や安養寺など多くの神社・仏閣や史跡があります。

◆住民の繋がりが強い地区です◆

- ・まちづくり委員会を組織するなど、地域のあり方を地区全体で考える素地があります。
- ・古くから様々な活動を通じた地区住民の結びつきが強く、かつては山形市民運動会を5連覇するなど、「地域一丸」の気風の強い地区です。



地区に広がる優良農地



豊富な水を活かした養魚池

◆主要な幹線道路が複数位置しています◆

- ・地区内の東西方向には都心地域に直結する（都）双月志戸田線（主要地方道山形朝日線）や県道下原山形停車場線が、南北方向には国道458号と市道西部広域環状線といった幹線道路が位置しています。また、（都）双月志戸田線は東北中央自動車道の山形中央インターチェンジに直結しており、周辺部だけでなく広域的な移動の利便性も高い地区です。
- ・東北中央自動車道の山形パーキングエリアに設置予定のスマートICに、地区から直結可能な道路となる村木沢反田線の計画が進められています。



広域的な移動を支える幹線道路



鱈観音

◆人口は減少傾向にあり、高齢化が進んでいます◆

- ・人口は、20年間で約16.2%減少しており、減少傾向が続いています。
- ・人口に占める高齢者の割合は36.6%となっており、20年間でおよそ12%増加しています。市全体の27.1%と比しても、高い割合となっています。
- ・大曾根小学校は児童数の減により複式学級となっています。

	大曾根地区				
	総人口(人)	～14歳	15～64歳	65歳～	年齢不詳
平成7年	1,727	277	1,022	428	0
平成27年	1,448	143	775	530	0
増加数	-279	-134	-247	102	0
	山形市全域				
平成27年	253,832	31,869	151,271	68,745	1,947

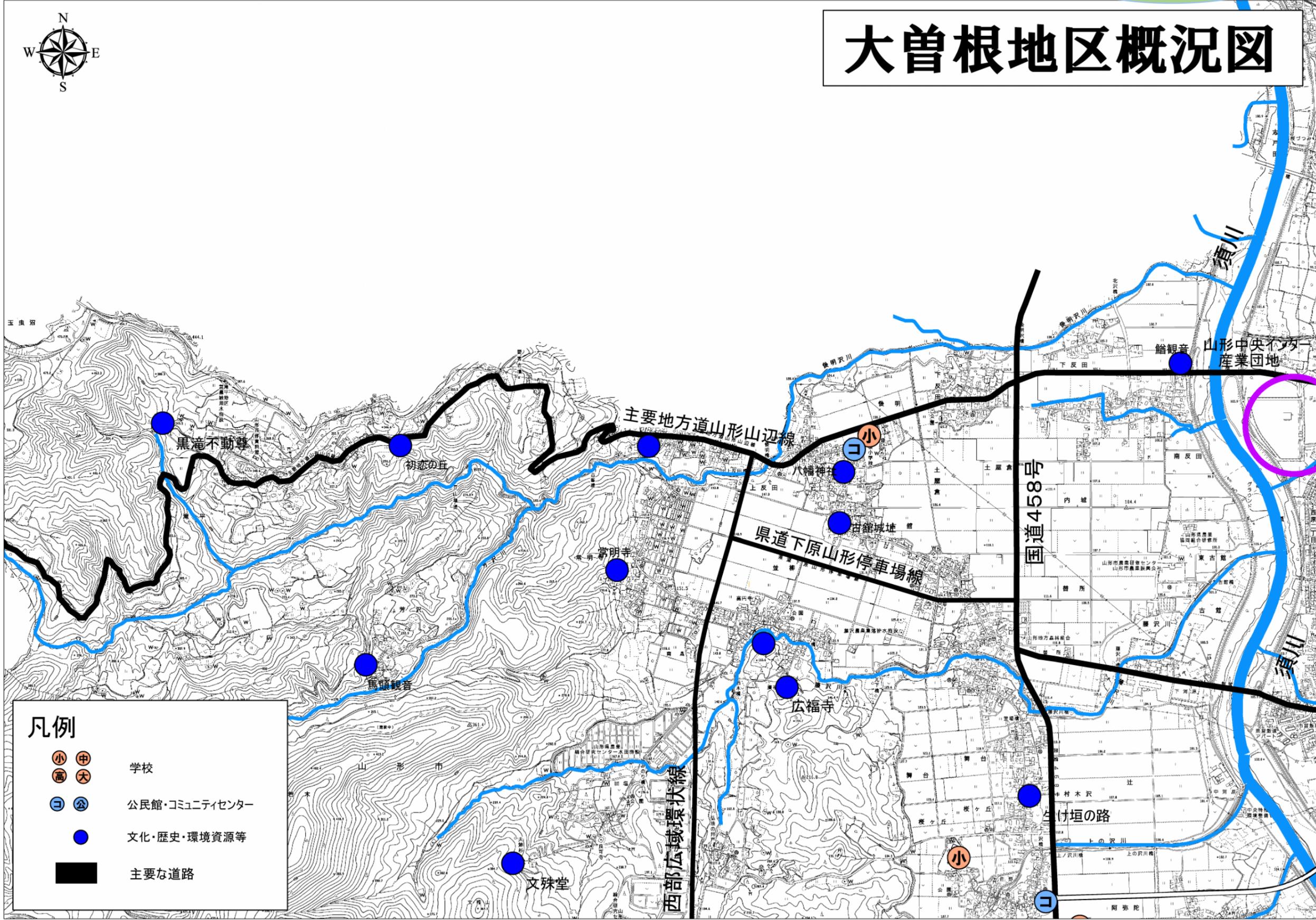
◆生活利便性の面で住民満足度が低くなっています◆

- ・買い物の便利さや、通勤・通学のしやすさ、郵便局・銀行等の近さに対する満足度は非常に低くなっています。
- ・公共交通の利用しやすさに対する満足度も非常に低くなっています。
- ・地区内に日常生活を支える商店等が極めて少ないため、市内だけでなく、地区から近距離にある山辺町の商業施設を利用し生活必需品等を購入している住民がいます。

◆地区内に土砂災害や浸水のおそれのある区域があります◆

- ・須川の周辺は洪水浸水想定区域に指定されています。
- ・土砂災害特別警戒区域に指定されているエリアがあります。また、土石流、地すべりのおそれのある区域があります。

大曾根地区概況図



凡例

小	中	学校
高	大	
☐	☐	公民館・コミュニティセンター
●		文化・歴史・環境資源等
—		主要な道路

地域の課題

土地利用に関する課題

- ・地区内の優良農地は、農業の生産基盤であるとともに、国土の保全や良好な景観の形成など多面的な機能を有する貴重な財産であり、維持・保全を図りながら次世代へ引き継いでいく必要があります。
- ・地域の特徴である「農業」を軸とした新たな取り組み（体験型農業施設や市民農園、6次産業施設等）を求められています。
- ・森林や里山などの周辺の緑は、それぞれの持つ公益的機能の維持・充実を図るため、適切に保全するとともに、新たな交流を生み出す貴重な資源として有効活用を図る必要があります。
- ・人口減少と高齢化の進展を踏まえ、地区への定住・移住・回帰を促進するため、新たな居住環境の創出が必要です。
- ・村木沢反田線はスマート I C のアクセス道路となり相応の交通量が予想されることから、道路整備に併せ、単に地区を通過するだけでなく地区の交流人口や関係人口の増に繋がる沿線の新たな土地利用が求められています。

交通に関する課題

- ・集落内には狭隘な道路が多いため、自転車・歩行者も季節を問わず安心して通行できる道路空間を整備していく必要があります。
- ・地区内を走る路線バスは、都心地域に繋がる路線のみであり便数も少なく、近隣への買い物や通院等には利用しづらい状況です。また、利用者が減少傾向にあるため、路線を維持するためには、さらなる利用促進を図る必要があります。
- ・都心地域への通学を見据えた交通施策が求められています。
- ・路線バスではカバーできない多様な移動ニーズや（近隣の病院や山辺町の商用施設など）、高齢者といった交通弱者に対応するため、地域の特性に応じた交通施策の検討が必要です。
- ・地理的条件もあり、生活全般において山辺町との関わりが深い地区であるため、山辺町と連携した交通施策の検討が必要です。
- ・村木沢反田線の整備に伴い、地区内の通過交通の増加が見込まれることから、道路整備と併せた周辺道路の安全対策の検討が必要です。

その他まちづくりに関する課題

- ・ 地区内には土砂災害や浸水被害など、各種災害発生時の被害想定区域が含まれており、被害を抑制するための防災・減災対策が必要です。
- ・ 遊歩道やサイクリングロードの整備など、河川空間の有効活用に向けた検討が必要です。
- ・ 地域のコミュニティを活かした住民主体のまちづくり活動を今後も持続していくことが必要です。

地域の声（意見交換での意見や地域の要望など）

【土地利用】

- ・ 村木沢反田線のアクセス性（西部工業団地村木沢線含む）を活かした、地域の活性化と交流人口の拡大に繋がる公共施設等の設置を求める意見があります。
- ・ 生活必需品を購入できる商業施設の誘致を望む意見があります。
- ・ 地区外からの移住・定住促進に向けた施策を求める意見があります。
- ・ 若者の移住・定住促進に向け、農振農用地を転用するなどした小規模な住宅団地の開発を求める意見があります。

【交通】

- ・ 幹線道路による地区へのアクセス環境は高いものの、その多くは通過交通であるため、交流人口の拡大といった地域の活性化には繋がっていないとの指摘があります。
- ・ 通学に適した公共交通がないため、特に自転車が使えない冬期間は、家族が自動車で送迎せざるを得ないとの意見があります。
- ・ 山辺町や朝日町が独自に運行し、地区内を通過しているバス（山形市民は利用不可）の利用を望む声があります。

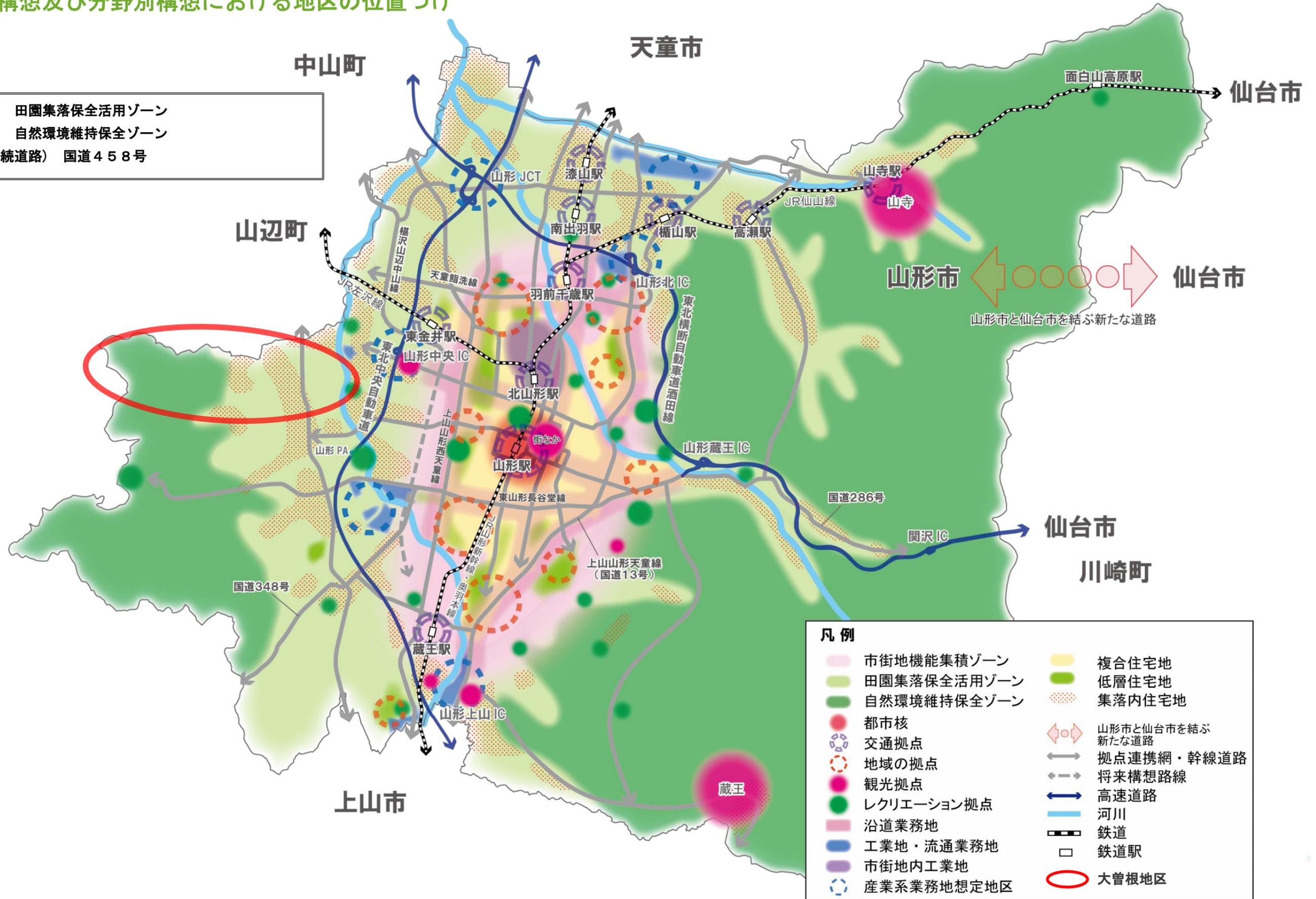
【その他まちづくり】

- ・ 有害鳥獣による農業被害が頻発していることから、更なる対策強化が望まれています。
- ・ 大曾根小学校の複式学級の解消に向け、学区外からの児童受け入れ（小規模特認校制度）を求める意見があります。
- ・ 地域活動に参加する若年層が減少し、参加者が高齢化・固定化しているとの指摘があります。また、地域活動の負担が大きく、仕事や私生活との両立が困難との意見があります。
- ・ 地域おこしの資源として、夜景や松茸山、冬期間の農地等を活用する意見があります。

※意見交換会等で得た主な意見（課題に記載した事項以外）を抜粋し記載

2. 全体構想及び分野別構想における地区の位置づけ

(ゾーン) 田園集落保全活用ゾーン
 自然環境維持保全ゾーン
 (地域間接続道路) 国道458号



3. まちづくりの基本方針

活気ある地域コミュニティがつくる

農と住が調和した緑豊かなまちづくり

土地利用に関する方針

- **豊かな農地は担い手の確保・育成を図りながら、保全・活用します。**
 - ・後継者や新たな担い手の確保による耕作放棄地の発生抑制と農地の保全
 - ・地域の農業を担っていく人材のための効率的な農地利用を見据えた人・農地プランの充実
 - ・体験型農業施設や簡易宿泊設備等を備えた滞在型市民農園、6次産業施設といった地域の農業を核として交流人口や関係人口の拡大に繋がる取り組みの検討
 - ・道の駅「(仮称)山形中央IC」と連携した農業振興施策の推進
 - ・有害鳥獣対策の強化
- **長期的な定住人口の維持・拡大による地域コミュニティの活性化を目指します。**
 - ・地区の空き家を活用した移住体験プログラム（お試し移住住宅、農業移住体験など）の検討
 - ・開発許可制度の見直し等による既存集落内への定住・移住促進
 - ・空き家バンクや住宅リフォーム支援などを活用した空き家対策による移住者向け住環境の整備推進
- **山形PA（スマートIC）や都心部への良好なアクセス環境を活かした村木沢反田線沿線の土地利用を検討します。**
 - ・交流人口や関係人口の拡大に繋がり、地域活性化の拠点となる施設の整備検討
- **公益的機能を有する豊かな里山環境はその機能を維持するため適切な保全に努めます。**
 - ・森林整備の促進及び病虫害対策等による森林の保全

交通に関する方針

- **地域の移動ニーズを踏まえたより利便性の高い公共交通網を構築します。**
 - ・山辺方面への買い物・通院や地区内各所への移動など、住民の日常生活を支える交通施策の検討
 - ・近隣自治体が運行しているバスの共同利用など、生活圏を共有する自治体との連携した交通施策の検討
 - ・小規模需要に応じた交通手法の導入検討
 - ・路線バスの利便性向上に向けた運行ルートの再編検討と、利用促進による路線の維持・確保

※青字は方針、黒字は取り組み例

●安心して暮らすことができる、安全性の高い道路空間の確保を図ります。

- ・狭隘な集落内道路の部分改良による、日常生活の利便性及び安全性の確保
- ・村木沢反田線の整備に伴う通過交通の増加を踏まえた交通安全対策
- ・国道458号の朝夕における渋滞緩和策の検討

その他まちづくりに関する方針



●郷土の歴史や文化・伝統など、魅力ある資源を通して地区の魅力を高めます。

- ・地区に多数存在する史跡や寺社、仏閣といった歴史・文化資源の結び付け（点在する資源のテーマを持った結び付け、ストーリー化など）や、養魚団地などの地区の特徴的な街並みを活用したまちづくりの推進
- ・夜景スポットやアウトドアスポーツ（トレッキング等）など、地理的条件を活かした土地利用の検討
- ・地域に眠る資源の発掘
- ・地域おこし協力隊の活用の検討

●学校教育環境の拡充を目指します。

- ・地区外との交流促進や複式学級の解消を見据えた、大曾根小学校への小規模特認校制度の導入検討

●各種ハザードに対応した防災・減災対策による、災害に強いまちづくりを進めます。

- ・土砂災害の防災・減災に向けた対策の推進
- ・国や県による洪水浸水想定区域の見直しを踏まえた、浸水被害対策の推進と治水対策の充実
- ・住民へのハザードマップの普及・周知
- ・災害発生時の迅速かつ適切な避難に向けた防災意識の高揚・啓発

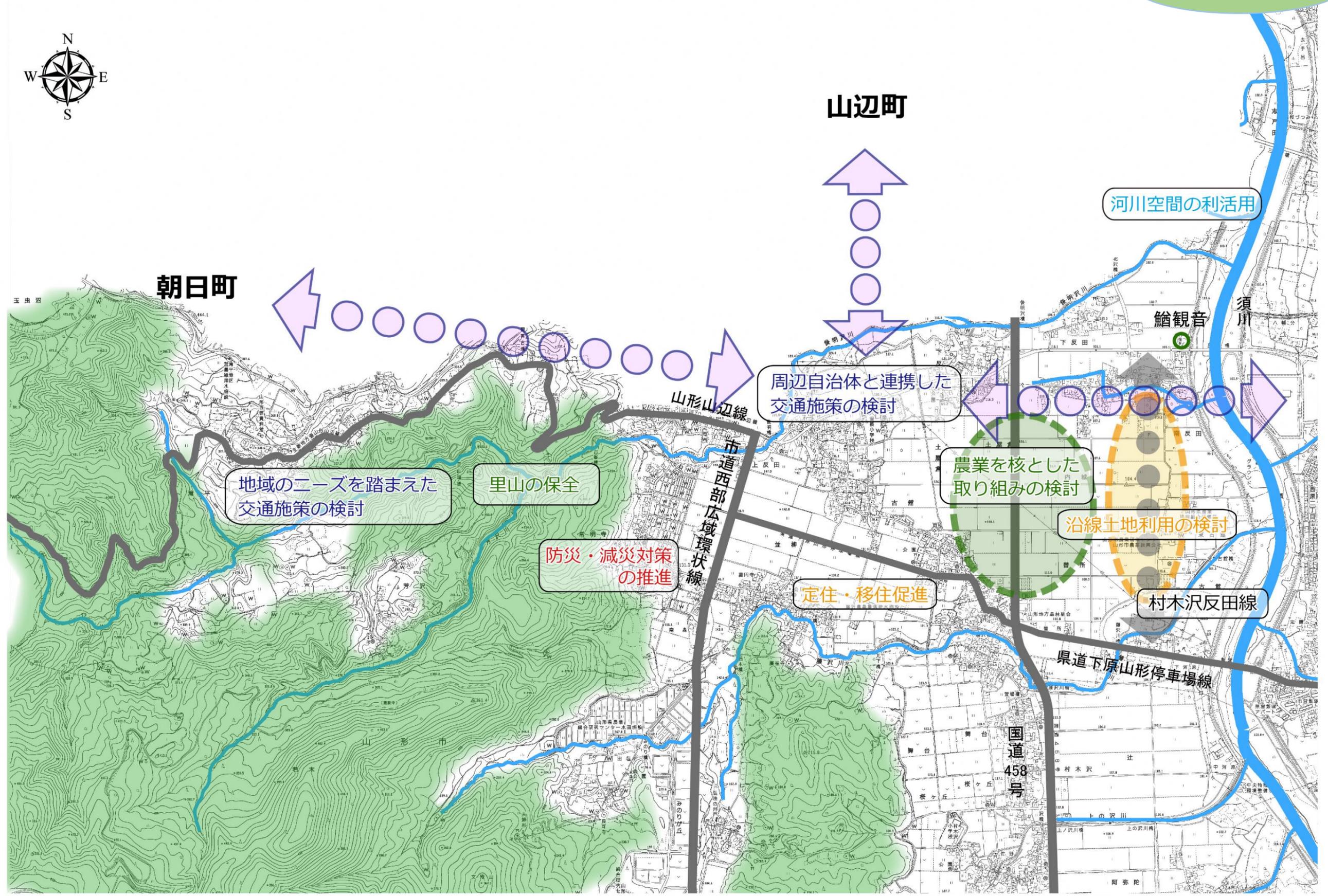
●須川の河川空間は、市民のふれあいやレクリエーション活動の拠点として保全・活用します

●地域コミュニティの維持・活性化に向け、多種多様な地区組織の運営の効率化と組織のスリム化を検討します。

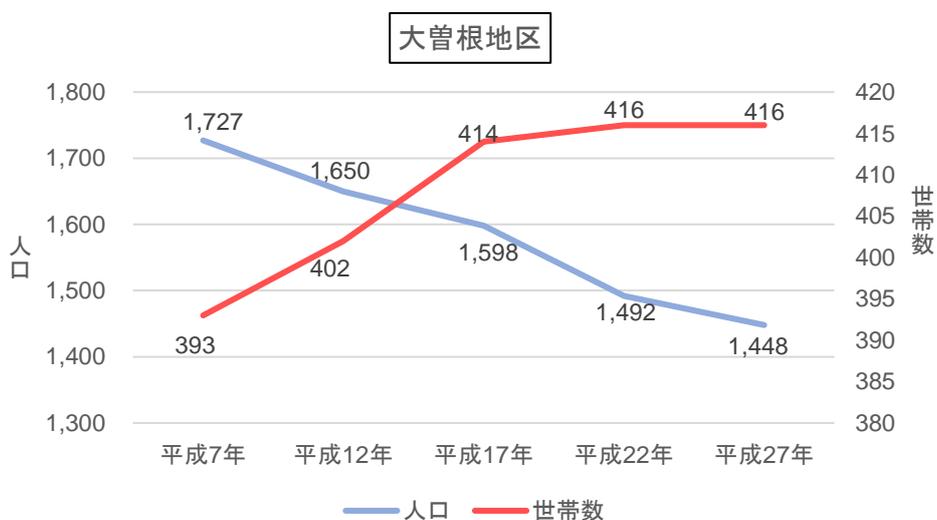
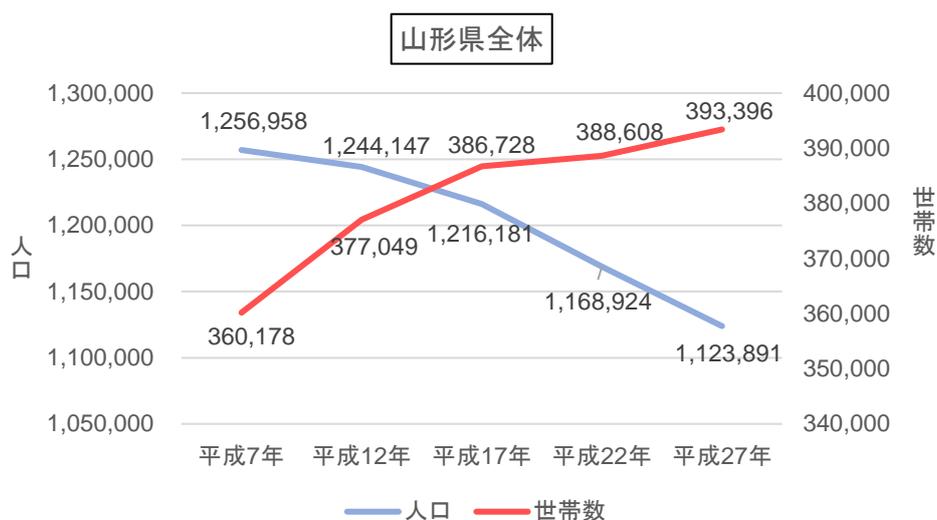
●地域別構想の実現に向けた効率的かつ効果的なまちづくりを進めるため、地域の自主的なまちづくり活動に対する支援を図ります。

- ・まちづくりに関する専門家の紹介や派遣、情報提供
- ・地域のまちづくり活動に対する市職員の積極的な派遣と活動支援

将来構想図



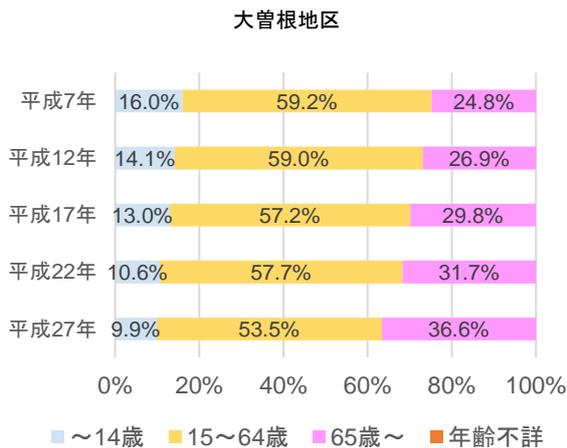
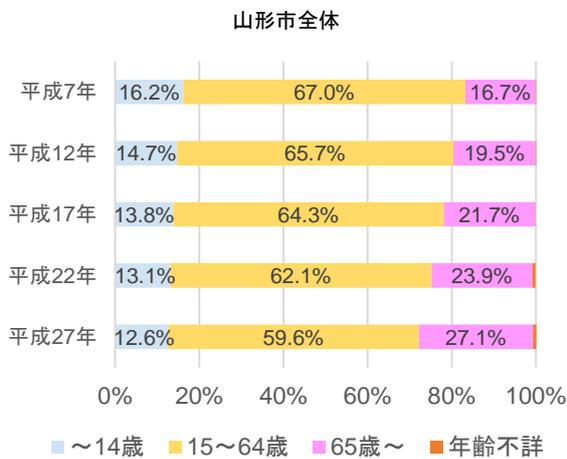
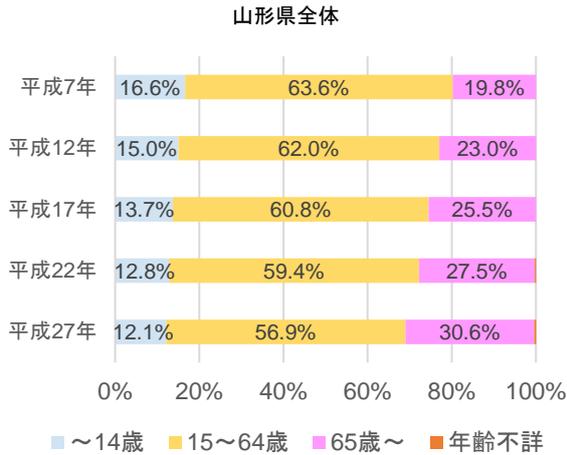
① 人口・世帯数



出典：国勢調査

【地域データ】

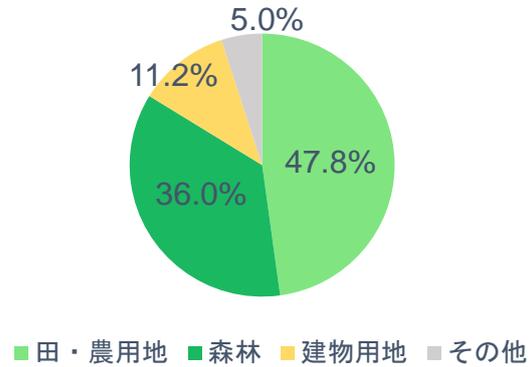
② 年齢構成比



出典：国勢調査

③ 土地利用割合 (H26)

地区の総面積 784ha



出典：国土数値情報（土地利用細分メッシュ）

④ 産業別就業者数

	平成7年	平成17年	平成27年
第1次	180	136	128
第2次	294	215	181
第3次	418	427	416
分類不能	2	32	34

出典：国勢調査

⑤ 産業別事業所数・従業員数

		平成18年	平成24年
事業所数 (件)	第1次	1	2
	第2次	19	19
	第3次	26	28
		平成18年	平成24年
従業員数 (人)	第1次	5	33
	第2次	71	91
	第3次	128	109

出典：事務所・企業統計(H18)、経済センサス(H24)

⑥ 商店数

	平成9年	平成26年
商店数(店)	14	7
店舗面積(m ²)	910	308

出典：商業統計

大曾根地区

【地域データ】

⑦ 居住住宅種類

	平成 7 年	平成 17 年	平成 27 年
持ち家	388	405	412
公営住宅	0	0	0
民営借家	2	5	0
給与住宅	3	4	2
間借り	0	0	1
住宅以外	0	0	0

出典：国勢調査

⑧ 道路

国道	県道	その他	合計
1.4km	6.6km	18.8km	26.8km

出典：DRM (H28) の GIS による図上計測

⑨ 都市計画道路の整備状況 (H29. 4. 1 現在)

整備済延長	事業中延長	未整備延長	計画延長
0.0km (0.0%)	0.0km (0.0%)	0.0km (0.0%)	0.0km

※整備済延長には概成済及び暫定 2 車線供用済路線を含む
※()内は計画延長に対する割合

出典：GIS による図上計測

⑬ 新築動向 (H24～28)

	専用住宅	その他住宅	商業施設	工場・倉庫	宿泊施設	娯楽施設	病院
戸数 (戸)	17	0	0	3	0	0	0
面積 (㎡)	2,629.5	0	0	84.5	0	0	0

出典：山形市資料

⑩ 公園 (H29. 4. 1 現在)

計画箇所	計画面積	開設箇所	開設面積	㎡/人
0	0	0	0	0

出典：山形市資料

⑪ 農地転用 (H24～28)

田		畑	
件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
2	1,161	3	1,514

出典：山形市資料

⑫ 開発許可申請状況 (H24～28)

市街化区域		市街化調整区域	
件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
0	0	7	5,232

出典：山形市資料

【地域データ】

⑭ 公共施設

小学校	大曾根小学校
中学校	
高校	
特別支援学校	
大学	
専修学校等	
認定こども園	
認可保育所	
幼稚園	
公官庁等(県・市)	
公民館・コミュニティセンター	大曾根コミュニティセンター
文化施設	
高齢者福祉施設	大曾根、大曾根さわやか荘
その他の福祉施設	
スポーツ・レクリエーション施設	
病院	
警察署	古館駐在所
消防署	